

ときわの風

常磐大学同窓会会報

2008.7.31

vol. 7

発行：常磐大学同窓会
編集：常磐大学同窓会事務局
水戸市見和1丁目430-1（常磐大学内）
電話029-232-2511（代）

WIND OF TOKIWA

E-mail dosokai@tokiwa.ac.jp

URL http://www.tokiwa.ac.jp/~dosokai/

2008年度

常磐大学同窓会総会・懇談会開催

2008年度常磐大学同窓会総会
および懇談会が、6月14日（土）に
水戸市新荘にある同窓会館で開催さ
れました。

の乾杯の発声で開会。ご臨席くださ
いましたLoiskandl先生、
安田健次郎先生、粕谷雄二先生、依
田泉先生からも一言ずつ挨拶をい
ただきました。当時の思い出話や同
窓会がより盛り上がるように、日頃
からつながりを持つことが大切な
のではないかな等のコメントをいただき

ました。Loiskandl先生の
スピーチの時には、大学で培った英
語力で同窓生が通訳をする場面もあ
り、和やかなムードの中、歓談は続
きました。最後は全員で写真撮影、
校歌斉唱をし、関敦央さん（第6期
卒）の三本締めにて閉会しました。



懇談会では、着任後、同窓会懇談
会に毎回ご出席いただいている井上
繁先生に来賓代表としてご挨拶をい
ただき、横須賀敬章さん（第1期卒）



2007年度 常磐大学同窓会事業報告

- 2007年度常磐大学同窓会総会、設立20周年記念講演会、懇談会の開催
 - 開催日：2007年6月16日（土）
 - 場所：京成ホテル
 - 出席者：97名
 - 主な講演等：
 - 【報告】2006年度事業報告・決算報告、入会状況
 - 【議案】2007年度事業計画・予算案審議、支部規程制定審議
 - 設立20周年記念講演会
 - 【講演者】安藤和洋さん
 - ※総会、講演会終了後、懇談会を開催
- 幹事会の開催
 - 実施時期および主な議案等：
 - 5月 2006年度事業報告、2006年度決算について、支部規程制定について 等
 - 11月 2007年度総会報告、学生支援事業報告
 - 1月 同窓会会長賞について（臨時）
 - 3月 2008年度事業計画、2008年度予算について 等
- 学生支援事業
 - 学園祭への援助金（2007年10月）
 - 同窓会会長賞・記念品授与（品名：電子辞書、2008年3月）
 - 学長奨励賞記念品授与（品名：高級ボールペン、2008年3月）
- 会員への大学情報の発信
 - 時期：第5号（7月31日発行）、第6号（1月31日発行）
 - 内容：会報「ときわの風」を発行し、会員へ送付
- 常磐大学同窓会ホームページの維持および管理
 - 時期：随時更新
 - 内容：総会開催様子の掲載、異動情報受付 等
- 卒業生の個人情報管理
 - 時期：随時更新
 - 管理情報：氏名、学籍番号、住所、電話番号、勤務先、ゼミナール、サークル 等

2007年度 常磐大学同窓会決算書

収入の部					支出の部				
項目	決算額	予算額	差異額	備考	項目	決算額	予算額	差異額	備考
会費収入	13,160,000	13,500,000	△ 340,000	新入会員 658名（新卒 655名+既卒3名）	人件費支出	10,000	20,000	△ 10,000	総会託児室アルバイト代
事業収入	234,500	520,000	△ 285,500	総会等参加費（会費85名・年会費12名）、邦定費利用料	消耗品費支出	95,019	156,000	△ 60,981	印刷用紙、総会関係消耗品 等
雑収入	192,355	50,000	142,355	預金利息等	交通費支出	61,980	115,000	△ 53,020	記念講演会講師、幹事会出席者（学外幹事）の交通費
積立金等運用収入	324,060	324,000	60	積立金等の運用に伴う利金	慶弔費支出	60,000	100,000	△ 40,000	旧教員の逝去に伴う香典
小計	13,910,915	14,394,000	△ 483,085		通信費支出	2,255,485	2,624,000	△ 368,515	総会案内・会報等 郵送料
前年度 現預金	37,070,951	37,070,951	0		印刷費支出	621,180	1,019,000	△ 397,820	総会案内・会報等 印刷費
繰越金 積立金等	50,000,000	50,000,000	0	オリックス社債30,000千円/日本生命社債20,000千円	会議費支出	640,575	1,230,000	△ 589,425	総会・幹事会 会議費
前年度繰越金小計	87,070,951	87,070,951	0		渉外費支出	11,290	20,000	△ 8,710	会報原稿執筆謝礼 等
合計	100,981,866	101,464,951	△ 483,085		業務委託費支出	222,833	245,000	△ 22,167	発送物（会報等）発送作業 委託費
					雑費支出	4,935	10,000	△ 5,065	振込手数料
					支援事業費支出	292,450	1,350,000	△ 1,057,550	学園祭援助、同窓会長賞賞状・記念品 等
					報酬手数料支出	1,050,000	1,000,000	50,000	設立20周年記念講演会 講演料
					小計	5,325,747	7,889,000	△ 2,563,253	
					次年度 現預金	45,656,119	43,575,951	2,080,168	
					繰越金 積立金等	50,000,000	50,000,000	0	オリックス社債30,000千円/日本生命社債20,000千円
					次年度繰越金小計	95,656,119	93,575,951	2,080,168	
					合計	100,981,866	101,464,951	△ 483,085	

2008年度 常磐大学同窓会事業計画

月	事業内容
4	
5	幹事会（前年度決算報告、前年度事業報告）
6	総会
7	同窓会会報（第7号）発送
8	
9	
10	幹事会 学生支援事業（学園祭援助）
11	
12	
1	
2	同窓会会報（第8号）発送
3	幹事会（次年度予算案承認、次年度事業計画案承認） 同窓会会長賞授与

その他

- 学生支援事業（在学生表彰含）
- 卒業生の個人情報管理
- 常磐大学同窓会ホームページ維持・管理
- 同窓会支部設立促進活動

2008年度 常磐大学同窓会予算書

収入の部					支出の部				
項目	本年度予算額	前年度予算額	差異額	備考	項目	本年度予算額	前年度予算額	差異額	備考
会費収入	1,460,000	13,500,000	1,100,000	2008年度入会者（新卒725名+既卒5名×20,000円）	総会補助等	20,000	20,000	0	
事業収入	140,000	520,000	△ 380,000	懇談会会費収入（70名×2,000円）	消耗品費支出	166,000	156,000	10,000	印刷用紙、印刷機消耗品、総会関係等
雑収入	250,000	50,000	200,000	預金利息等	交通費支出	85,000	115,000	△ 30,000	幹事会出席幹事交通費等
積立金等運用収入	350,000	324,000	26,000		慶弔費支出	100,000	100,000	0	慶弔関係
小計	15,340,000	14,394,000	946,000		通信費支出	2,092,000	2,624,000	△ 532,000	総会通知、会報送付等
前年度 現預金	25,656,119	37,070,951	△ 11,414,832		印刷費支出	747,000	1,019,000	△ 272,000	会報、封筒印刷等
繰越金 積立金等	70,000,000	50,000,000	20,000,000	オリックス社債、日本生命社債	会議費支出	382,000	1,230,000	△ 848,000	総会、幹事会等
小計	95,656,119	87,070,951	8,585,168		渉外費支出	20,000	20,000	0	会報原稿執筆謝礼、取材先土産等
合計	110,996,119	101,464,951	9,531,168		業務委託費支出	196,000	245,000	△ 49,000	発送物袋詰作業等
					雑費支出	10,000	10,000	0	振込手数料等
					支援事業費支出	1,500,000	1,350,000	150,000	学生支援事業、支部運営補助等
					報酬手数料支出	0	1,000,000	△ 1,000,000	
					小計	5,318,000	7,889,000	△ 2,571,000	
					次年度 現預金	35,678,119	43,575,951	△ 7,897,832	
					繰越金 積立金等	70,000,000	50,000,000	20,000,000	オリックス社債、日本生命社債
					小計	105,678,119	93,575,951	12,102,168	
					合計	110,996,119	101,464,951	9,531,168	

MESSAGE

大学サークルの過去と現在

同窓会の皆様、お元気でしょうか。人間科学部の長谷川幸一です。1988年4月に人間科学部組織管理学科の専任講師として赴任して以来、常磐大学での教員生活が今年でちょうど20年になりました。私が赴任した当時の常磐大学には、人間科学部しかありませんでしたが、その後国際学部、コミュニケーション振興学部が増設され、人間科学部自体も変貌を遂げ、組織管理学科は2004年に旧人間関係学社会科学専攻との統合によって現代社会科学組織管理学科となり、さらに本年、改組された国際学部の経営学科に統合されました。昨年、10月には、ホームカミングデーで組織管理学科1期生のみなさんたちと久しぶりにお会いしましたが、普段は雑事に追われ思い出すことのなかった20年前の出来事のいくつかを懐かしく思い出しました。

ここでは、私が携わってきた大学のサークル活動、とくに常磐大学吹奏楽団の過去と現在について、少しだけ書いてみます。私が常磐大学吹奏楽団と関わりをもつようになったのは、1993年ごろからであったと思います。中学・高校・大学と吹奏楽部に所属していた私は、大学院時代に吹くことができなかつたトランペットの練習を再開しようと、就職後さっそくボーンで楽器を買いましたが、練習場所がなく、しばらくの間は楽器を吹けないでいました。そんなある日の夕方、いつだったか正確にはわかりませんが、それまであまり行つたことのなかつた短大エリアを歩いていたら、何処からともなくトランペットやトロンボーンの音色が聞こえてきました。それをきっかけに、J302教室で基礎的な練習をさせてもらうようになったのですが、私はもともと学生時代から音程が悪く、どちらかというと下手の横好き系のプレイヤーであるため、当初は、慣れない仕事のストレスの発散というぐらいの気持ちで楽器を吹いていました。しかし、第10回記念定期演奏会を翌年3月に控えた1994年の晩秋、当時組織管理学科3年生の平塚団長（現同窓会幹事・本学職員）から、トランペットのメンバーが足りないというので、演奏会に出てほしいという要請を受けました。少し迷いましたが、演奏曲目がどれも魅力的なものばかりだったこともあり、学生たちと練習することにしました。合奏やパート練習における学生たちの態度は真剣そのもので、それまで私が、組織論や原典講読で見ている姿とはまったく違い、別人のようでした。パート練習では、幾度となく音程の悪さを指摘されたのを、今でも懐かしく思い出します。

その後、病み付きになった私は、本年2月の第23回定期演奏会まで（昨年は「故石坂先生を送る会」と日程が重なつたため出演できませんでしたが）、演奏会第3部の曲目を学生たちと練習し、演奏会に出演してきました。またそれと同時に、吹奏楽団の創設時のメンバーである横須賀さん、根本さん（いずれも現同窓会幹事・本学職員）、短期大学吹奏楽部の部長を務めた打越さん（本学職員）をはじめ、学生時代に楽団の運営に携わり、卒業後は母校に入職し同窓会の幹事もしている佐川さん、緑川さん、長南さん、そして先に触れた平塚さんたちとは、吹奏楽団の同窓会組織である「TOKIWAおんぷの会」のメンバーとして活動し、昨年の11月にもひたちなか市民会館での「同窓会」に参加することができました。「おんぷの会」は、毎年、コンクールや演奏会における学生へのさまざまな面でのサポート、さらには資金面での援助も行つており、現役の吹奏楽団の活動を支えるという点においても大きな役割を担ってきました。教員の私が言うのも変ですが、学生は自発的なサークル活動を行うことによつて、受動的な態度で臨む講義からは得られない貴重な経験をできることができます。「おんぷの会」のみなさんたちの活動は、

まさにそのことを証明しているといえるでしょう。ただ、残念なのは、現在の吹奏楽団に以前のような活気が感じられないことです。2003年度から、私は顧問に就任しましたので、責任の一端は私にあるのですが、このような傾向は、常磐大学吹奏楽団に限つたことではなく、近年多くの大学では「サークル離れ」が進み、複数の人間が共同で組織的な活動を行うことを忌避する傾向が顕著になってきていることも事実のようです。日本の将来を担うべき若者たちの「個人化」「孤立化」は、社会的にも重要な意味をもつ問題であり、大学教育に携わる人間が真剣に取り組まなければならぬ課題のひとつでもあります。現役の学生たちが、先輩たちの築き上げた「トキワサウンド」を復活しようと立ち上がる日がいつになるのか、下手の横好きを自認する私がサポートできることはきわめてわずかしかなかったかもしれませんが、学生たちの活動を見守り続けたいと思います。最後になりましたが、同窓会の皆様のお名前を掲載させていただきます。



人間科学部現代社会科学科教授
長谷川 幸一 先生
慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程単位取得満期退学。
社会学修士。専門：組織論、社会学方法論。日本社会学会、組織学会会員。

おくやみ

川島 淳一先生（享年72歳）
元国際学部教授
「前国際交流語学学習センター長」

塚越 敏先生（享年90歳）
元人間科学部教授

塚本 哲人先生（享年82歳）
元人間科学部教授

「同窓会会長賞受賞者決まる」

常磐大学同窓会設立20周年記念事業として2007年度同窓会総会にて承認された常磐大学同窓会「会長賞」の第1回表彰式が2008年3月20日卒業式終了後に執り行われ、池田正則同窓会会長より賞状と記念品（電子辞書）が贈呈されました。

同窓会「会長賞」は、在学中の諸活動で、顕著な成績や成果を上げた個人や団体に対して賞を授与することにより、在学生の諸活動の活性化を支援し、本会および本会の活動に対する認知度、理解度の向上を図ることを目的として創設されました。

また、2008年3月14日、常磐大学「学長奨励賞」受賞者に対し、同窓会より記念品としてボールペンが贈呈されました。

次の方々がです。

【学部学業成績最優秀者】
人間科学部
コミュニケーション学科
久家 有利子さん
国際学部 国際関係学科
萩庭 辰哉さん
コミュニケーション振興学部
コミュニケーション文化学科
成井 咲絵さん

【その他】
人間科学部 現代社会科学科
藤枝 国博さん
（クライミングジャパンカップ
ユース2位
世界ユース選手権大会出場）
国際学部 英米語学科
中山 修さん
（TOEIC 970点取得）

「掲載文募集」

同窓会事務局では、会報「とぎわの風」に掲載する会員の皆さまからの投稿を募集しています。日々の雑感・近況報告などをお寄せください。（編集の都合上800字程度でお願いします。）なお、掲載された方には、薄謝進呈いたします。

【送付先】 〒310-8585 常磐大学同窓会事務局
または、dosokai@tokiwa.ac.jp

* 編集後記 *

今年も総会・懇談会を無事終えることができた。参加いただいた同窓生の皆さまは楽しんでいただけたのだろうか。もっと多くの同窓生に総会・懇談会に足を運んでもらえるよう今後も努力していきたい。常磐大学は創立25周年を迎えた。キャンパスの施設設備は拡充を続け、次代の二

ズに対応した学科改編が行われている。同窓生の皆さまも、卒業後、就職し、家庭を持たれた方も多いだろう。

――変わることに変わらないうこと。ぜひ皆様の近況をお寄せいただき、会報が情報交換の場になれば幸いである。

(T)

